第２学年１組　学級活動（１）学習指導案

北九州市立小石学校

１　議題　「１年生を おもちゃランドに しょうたいしよう」

２　議題について

（１） 児童の実態

本学級の児童は、明るく元気がよく、何事にもチャレンジする意欲がある。学級目標である「ともだちとなかよく みんな元気で スマイルいっぱい あいさつがんばる２年１組」を意識しており、日頃の生活の中でも、児童から「笑顔であいさつしよう」等の学級目標に関する言葉がよく出てくる。また、友達が困っていると、優しい言葉かけや行動ができる児童が多い。

これまでの学級会では、「学級目標を決めよう」や「学級会の名前を決めよう」、「モルモットの名前を決めよう」等の話合いをしている。話合いが停滞することもあったが、その都度、子どもたち同士で声をかけ合ったり、教師の助言を聞いたりしながら、スムーズに話合いができるようになってきた。

一方で、議題によっては、特定の児童しか発言できず、なかなか話合いがまとまらない時もあった。また、自分の意見を発表せずに、友達の考えを聞いているだけの児童もいた。「くらべあう」場面や「まとめる」場面での話合いの前に、今、どのような状況かを担任が確認したり、ICT を活用して全体の意見を視覚的に把握したりして、友達の思いにも気付かせながら、全員で話し合うことができるように指導を続けている。

（２） 議題選定の理由

本議題は、「１学期に夏祭りに招待してくれた１年生ともっと仲良くなりたい」と考えた児童から提案されたものである。本学級の児童は、１年生のために行った学校探検のお礼に開催された夏祭りに参加したことから、「１年生に喜んでもらえるような集会をしたい」という気持ちを強くもっていた。そこで、生活科の学習と連動しながらできる「おもちゃランド」に１年生を招待して、楽しんでもらいたいという思いが高まったことを受けて、計画委員会で話し合い、議題として選定された。

１年生とは、学校探検や夏祭り以外にも、水泳学習や縦割り活動等で交流をしている。交流を通して、互いを思い合う気持ちを少しずつ高めているため、１年生に親しみを感じている児童は多い。「１年生のためにおもちゃランドを開いてもっと仲良くなりたい」という目的に向かって、全員で話し合って決めたことをもとに、協力して実践する楽しさを十分に味わわせていきたい。

３　目標

知識及び技能	○　自分の役割や学級会の進め方を理解し、友達と協力して準備をすることができる。 ○　合意形成したことをみんなで協力して実践することのよさを理解することができる。
思考力、判断力、表現力等	○　提案理由やめあてを意識して、自分の考えを学級会ノートに書いたり、発言したりすることができる。

	○　１年生に喜んでもらえるようなおもちゃランドにするために、友達の意見や自分の意見のよいところに着目して合意形成を図ることができる。
学びに向かう力、人間性等	○　計画委員会の役割を理解し、進んで話合い活動に取り組もうとする。 ○　合意形成したことを基に、友達と協力して積極的に活動に取り組もうする。

４　評価規準

よりよい生活を築くための知識・技能	○　自分の役割や学級会の進め方を理解し、友達と協力して準備をしている。 ○　合意形成したことをみんなで協力して実践することのよさを理解している。
集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	○　提案理由やめあてを意識して、自分の考えを学級会ノートに書いたり、発言したりしている。 ○　１年生に喜んでもらえるようなおもちゃランドにするために、友達の意見や自分の意見のよいところに着目して合意形成を図っている。
主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする主度	○　計画委員会の役割を理解し、進んで話合い活動に取り組もうとしている。 ○　合意形成したことを基に、友達と協力して積極的に活動に取り組もうとしている。

５　事前の活動

日時	学習活動	○　主な指導上の留意点	【観点】評価規準（評価方法）
８月２７日～ （生活科）	１　おもちゃを作成し、いろいろな遊び方を試す。	○　相手意識をもって遊び方を具体的に考えることができるように、おもちゃを作成するときや遊び方を試すときは、１年生の姿を想像しながら活動するように声をかける。	【主】１年生に喜んでもらえるようなおもちゃランドにするために、進んで活動に取り組もうとしている。（行動観察）
９月６日 （５校時）	２　Forms（アンケート）で、おもちゃランドで１年生に遊んでもらいたいおもちゃを決める。	○　児童が、１年生に、どのおもちゃで遊んでもらいたいか把握できるようにアンケートを行う。	【主】１年生に喜んでもらえるようなおもちゃランドにするために、真剣にアンケートに答えている。（行動観察）
９月９日 （昼休み）	２　計画委員会で議題を選定し、議題を決定する。 （計画委員会）	○　真剣に話し合える内容を選定できるように、議題は、学級の様子や実態に即して考えるように助言する。	【主】計画委員会の役割を理解し、進んで取り組もうとしている。（行動観察）
９月１０日 （昼休み）	３　提案理由を基に、柱、話合いのめあて、柱２の視点	○　全員で話し合う必要がある内容を柱として決定できるように、相手意識や目的意識を高められるような助言	【思】提案理由に沿って、全員で話し合う内容を決定している。（発言内容・行動観察）

	を決める。 （計画委員会）	をする。 ○　学級会新聞等を活用して、これまでの話合いの反省点を生かしてめあてが設定できるように助言する。	
９月１０日 （５校時）	４　議題、提案理由、柱、めあて、柱２の視点を確認し、自分の考えを学級ノートに書く。 （全員）	○　今までの学習を想起しながら自分の考えを書くことができるように、おもちゃの名前や写真の掲示をする。 ○　めあてを意識しながら、話合いに参加できるように、自分の意見を詳しくノートに書くように助言する。 ○　意見や理由がなかなか書けない児童には、個別に声をかけて一緒に考える。	【思】提案理由やめあてを意識して、自分の考えを学級会ノートに書いている。（ノート分析）
９月１０日 ～１６日 （昼休み）	５　学級会ノートに書かれた意見を整理し、話合いの準備や練習をする。 （計画委員会）	○　話合いの見通しをもつことができるように、全員の学級会ノートに目を通しておく。	【知】自分の役割や学級会の進め方を理解し、友達と協力して準備をしている。（発言内容、行動観察）
９月１７日 （昼休み）	６　学級会のリハーサルを行う。 （計画委員会）	○　話合いがスムーズにできるように、役割分担や司会・進行の仕方、黒板記録、ノート記録の仕方を指導する。	【主】自己の役割を理解し、積極的に取り組もうとしている。 （行動観察）

６　本時の学習

（１）日時　令和６年９月１８日（水）５校時　於　２年１組教室

（２）主眼

おもちゃランドの名前やおもちゃコーナーの内容について話し合う活動を通して、友達の考えと自分の考えのよいところに気付き、１年生と楽しみながらより仲良くなれるような内容を全員で考えて決めることができるようにする。

（３） 見方・考え方を働かせている児童・生徒の姿

友達の意見のよいところに気付き、そのよさを生かして合意形成を図っている姿。

提案理由やめあてを意識して、自分の意見を発表している姿。

（４）準備

教師：黒板掲示用プレート（議題・提案理由・柱１など)、GIGA 端末

児童：学級会ノート（全員)、話し合いの進め方ノート（計画委員会)、学級会グッズ

（５）展開

第８回学級会　活動計画	
議　題	「１年生を おもちゃランドに しょうたいしよう。」
役　割	司　　会（　）（　）　黒板記録（　）（　） ノート記録（　）タイマー（　）　提 案 者（　）
提案理由	夏祭りをしてくれた１年生のために、今度は、自分たちがおもちゃランドに招待して、楽

	しんでもらいたいと思いました。みんなで、おもちゃランドをして、おもちゃコーナーで一緒に遊び、１年生ともっと仲良くなりたいと思ったので、提案しました。
めあて	①　１年生が「楽しい」と思えるような内容を考えよう。 ②　友だちの意見を最後まで聞いて、自分の意見を言おう。
決まっていること	きまっていること 日にち‥10月頃 場所･･･多目的室 内容･･･4つのおもちゃコーナーを作る。（4つのグループに分かれて行う。） グループ全員で協力して作る。 1つのコーナーで遊べる時間は7分程度。

学習活動	○　指導上の留意点　　【観点】評価規準（評価方法）
１　はじめの言葉	○　めあてや提案理由等を意識しながら話合いができるように、議題、提案理由、話合いのめあてなどは、事前に模造紙や短冊に書き、黒板等に掲示しておく。
２　司会グループの紹介をする。	○　自分の役割について、頑張ることを発表することで、自覚をもって取り組むことができるようにする。
３　議題と提案理由の確認をする。	○　提案者の思いや願いを共有することで、学級全体で会を作り上げるという意識をもたせるようにする。
４　めあての確認をする。	○　めあてに沿って話し合いができるように、全員で声に出して読むようにする。
５　決まっていることの確認をする。	○　全員が同じイメージをもって話し合えるように、決まっていることやキーワードを確認する。

きまっていること
日にち‥10月頃
場所･･･多目的室
内容･･･4つのおもちゃコーナーを作る。（4つのグループに分かれて行う。）
1つのコーナーで遊べる時間は7分程度
グループ全員で協力して作る。

６　話合いをする。 柱１ おもちゃランドの名前を決めよう。 （くらべあう→まとめる）	○　話合いの状況を視覚的に理解しやすくするために、くらべあうでは、賛成・反対マークや短冊黒板等を活用して、児童の意見を黒板に分かりやすく整理するよう、必要に応じて助言する。 ○　意見が出ないときは、意見を出しやすくするために、小グループやペアでの話合いを取り入れるように、司会に児童に助言しておく。 ○　まとめるでは、それぞれの意見のよさに着目しながら話合いができるように、合意形成のツールとして賛成・反対マークや短冊黒板等を活用しながら、話合いをまとめるようにする。 【思】1年生に喜んでもらえるようなおもちゃランドにするために、友達の意見や自分の意見のよいところに着目して合意形成を図っている。（発言内容･行動観察）

柱２ １年生が楽しめるおもちゃコーナーを決めよう。 （くらべあう→まとめる）	○　おもちゃコーナーを選ぶ際、共通の視点をもつことができるように、３つの視点（何回も遊べる・１度にたくさんの人が遊べる・いろいろな遊びができる）を掲示する。 ○　遊び方について共通のイメージをもつことができるように、GIGA 端末を活用して、おもちゃの写真や遊び方が分かる動画（プレゼン）を確認する。 ○　必要に応じてGIGA端末（Forms）を活用して全体の意見を視覚化することで、友達の考えと自分の考えの共通点や相違点に気付くことができるようにする。
７　決まったことの確認をする。	○　全員が決まったことを理解できるようにするために、ノート記録の発表に不足がある場合は、助言する。
８　振り返りをする。	○　本時の話合いの振り返り、事後の活動に向けての思いなどを学級会ノートに具体的に書くことができるように、振り返りの視点（友達のよいところ・これから頑張りたいこと等）を意識して考えるように声をかける。
９　先生の話を聞く。	○　今後の活動への意欲を高めることができるように、提案理由やめあてを意識した発言を称賛する。さらに、友達の意見を大切にしながら合意形成を図れた発言や頑張った計画委員会をねぎらう。

（６）評価の様相

区　分	様　　相
十分満足できる状況	○　提案理由や話合いのめあてを意識しながら、友達の意見や自分の意見のよいところに着目して合意形成を図っている。
おおむね満足できる状況	○　教師の支援を受けて、提案理由や話合いのめあてを意識しながら、友達の意見や自分の意見のよいところに着目して合意形成を図っている。

７　事後の活動

日時	学習活動	○　主な指導上の留意点	【観点】評価規準（評価方法）
９月下旬～１０月初旬 （生活科の時間）	１　「おもちゃランド」に向けて役割分担を行い、準備をする。 （全員）	○　計画に沿って協力して活動できるように、活動予定表を掲示したり、適宜声かけをしたりする。	【主】合意形成したことを基に、友達と協力して活動に取り組もうとしている。（発言内容・行動観察）
１０月中旬 （生活科の時間）	２　「おもちゃランド」をする。 （全員、１年生）	○　１年生も２年生も楽しめるように協力して活動するように声かけをする。	【主】「おもちゃランド」の目的を意識しながら、友達と協力して活動しようとしている。（行動観察）
１０月中旬 （生活科の時間）	３　振り返りをする。 （全員）	○　実践を振り返り、充実感や達成感を味わうことができるように、児童が努力してきたことや、児童のよさを全体で共有する。	【知】合意形成したことをみんなで協力して実践することのよさを理解している。（発言内容・ノート分析）

		○　友達と協力したことや話合いを通して充実したおもちゃランドになったことをお互いに称賛する。	